HEARTFUL
SKILLFUL
POWERFUL

確かな
実践力を
身につけよう！

～確かな実践力を身につけた教員を志すあなたへ～

教員養成特別コース

- 本コースは，学部を卒業したみなさんが，大学院で実践力を高め，小学校現場で求められる確かな専門性や実践力を身につけた教員に成長することを支援します。
- また，これから免許を取りたい人を対象として，３年間をかけて小学校教諭の免許を取得しつつ教職大学院の本コースで学べる制度やカリキュラムを設置しています。

鳴門教育大学 教職大学院

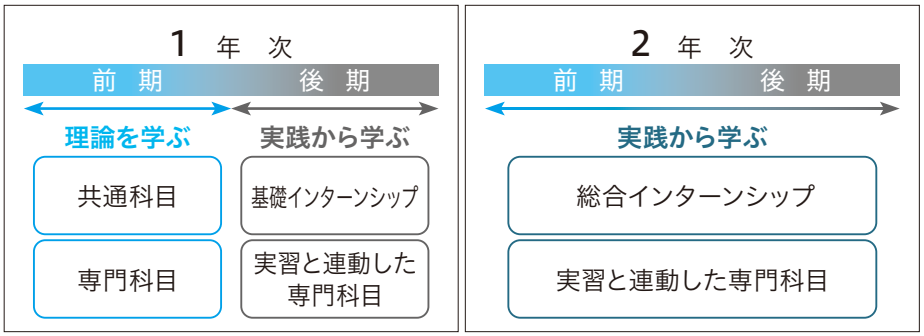
教職大学院 **教員養成特別** コース

学部卒業生を対象としたコース

学校現場で身につける確かな実践力 ～長期にわたるインターンシップ～

本コースでは，長期に及ぶインターンシップを行い，実習校の担任の先生と一緒に授業や学級経営，生徒指導などを実践します。1年次は鳴門教育大学附属小学校，2年次は鳴門市内の小学校での実習となります。特に2年次の総合インターンシップでは，学級開きの様子を一から学ぶため，4月から実習校で実習を行います。

実際の教育現場で子どもたちと向き合う実践を重ねることで，教職のイメージを深め，確かな実践力を身につけることができます。



大学で学ぶ実践に即した理論 ～省察と課題解決～

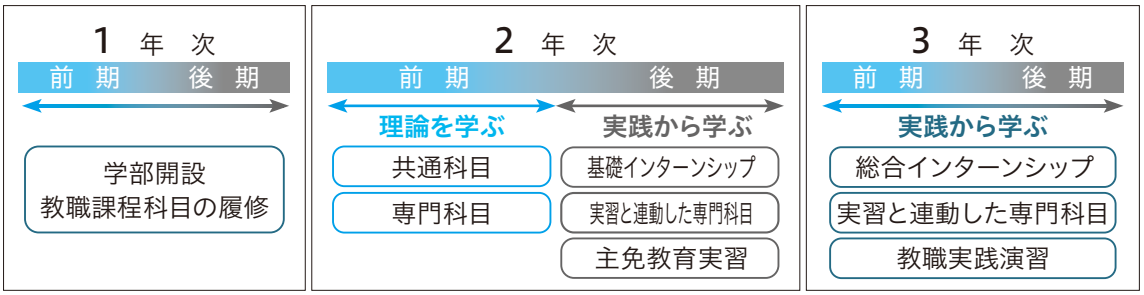
実習校で実践力を高める一方，大学では理論についてもしっかり学べます。

本コースでは，大学院生が実習校で行う授業を支えるため，教材研究や指導案の作成，実施した授業の振り返りや課題の洗い出し等のサポートを行っています。コースの教員の大半は，学校現場や教育委員会等での実務経験のある教員です。

また，本学教職大学院では，幼・小・中・高等学校の現職の先生方が学んでいます。そのような現職の先生方と一緒に授業や演習を受けたり，教育について語り合ったりする中で，様々な教育現場の生の声を聞くことにより視野がぐんと広がり，教職の豊かさを学ぶことができます。

小学校教諭免許状の取得 ～学校教員養成プログラム～

本コースには，3年間在学しながら学部授業を履修することで，小学校教諭専修免許状を取得することができる制度があります。



授業やゼミの様子 ～学校現場で役立つ授業～

本コースでは，「学級経営実践演習」「生徒指導実践演習」「教育実践の事例研究」「学習指導要領と教育課程」など，学校現場ですぐに役立つ授業やゼミ等を開設しています。右ページには授業を受けての院生の感想や教員の声などを掲載しています。

学級経営実践演習A・B

［**ねらい**］学校での実践経験のある大学教員と学級経営についての協議を行うことを通して，実際の学習場面や生活場面を想定した学級経営の方針や具体的方策について考え，学級担任として学級経営を円滑に行う知識やスキルを習得することをめざす。

［**感　想**］今日の授業では架空の学級の実態をもとに，どのような学級にしたいか（理由含む）について低学年・中学年・高学年の３チームに分かれて議論し発表などをしました。やってみるとやはり抽象的な意見が多く，具体的に語ることが不十分でした。それはやはり，今まで具体的なビジョンを持ったことがないからではないかと私は感じました。これからの講義を通して自分の学級経営ビジョンをしっかりと構築していきたいと思います。

教育実践の事例研究A・B

［**ねらい**］「学習指導要領と教育課程」「生徒指導実践演習」「学級経営実践演習」と連携し，学習指導における教師の資質や能力について，附属学校園の教育現場を訪問し，授業や保育等の観察と検討を通して実践的な理解を深める。

［**感　想**］今回の観察を通して，主に学級経営や生徒指導における教師の具体的な手立てと児童の様子や反応を学ぶことができました。教科担任制であるにも関わらず，学年団で統一された指導や学級における決まりを意識して児童が生活していることなど，今後の参考となる点が多く見つかりました。私は，附属小学校の様子を一日観察して，まるで「小さな社会」を見ているように思えました。基礎インターンシップでは，自分が児童と関わる中で，さらに多くの学びを得られるようにしたいです。

基礎インターンシップ

［**ねらい**］附属小学校において実習を行い，主として児童・生徒理解や授業実践など教師としての基礎的な実践力を身に付けることをねらいとする。

［**感　想**］大学院１年次の 10 月から 11 月にかけての４週間，附属小学校において基礎インターンシップを行いました。担任の先生の様子から学ぶだけでなく自分自身も子どもの前に多く立ち指導しながら学びました。様々な教科の授業実践もたくさんさせていただき，実践した授業について大学の先生や同期の院生とゼミで振り返りをし，授業記録や授業映像を手掛かりに分析をしています。

教育課題探究

［**ねらい**］模擬授業を設計しチームで協働的に学ぶ活動を通して，基礎インターンシップや総合インターンシップ等に向けての授業実践力の向上を図る。

［**感　想**］私のチームは，１年生の説明文教材「くちばし」の第３時の指導案を検討しました。メンバーの構成は，院生３名，大学教員２名の構成です。私は私なりの授業設計をしたつもりでしたが，進める過程で，「小学校１年生はどのように考えるのかなあ？」「国語の苦手な子どもはそんな考え方はしないかも？」「この時の発問は変えた方がいいんじゃないの？」など，いろいろな支援やアドバイスを受け，子どもをイメージしながら検討することができました。常に目標を意識しながら，「何がわかればいいのか」「何を考えさせたいか」「ゴールは何なのか」など，大きな視点をはずさない検討が少しずつできるようになってきました。来週の大学院授業で今日の指導案検討を生かしながら模擬授業を行い，修正を加え，さらによいものに仕上げていきます。

ゼミの様子（教員の声）

授業の空き時間やゼミの時間に模擬授業を行うこともあります。以下，その際の様子を紹介します。

６年生の社会科「武士の政治が始まる」の導入にあたる，武士の館の様子の絵を元に，武士の暮らしの様子を調べようというものです。授業をはじめる前に教師用指導書を元に細案を約 10 分考え，その後約 15 分授業をしました。模擬授業では，子どもからの意見への問い返しや，発表された意見の処理に困っていた様子で，あとの検討会で話題になりました。その中で，教材研究によって教師が教材をしっかり把握し内容を押さえておくことが大切であること，武士の暮らしの特徴を観点で分けて板書したり，問い返しで意識させたりして，武士の暮らしを考える観点を見つけさせたり，その観点で絵をみて暮らしをイメージさせたりすることが大事なのではないかなどの話が出ました。合同ゼミでの模擬授業の取組を通して，細案が詳しく書けるようになってきています。子どもがイメージでき，子どもを生かした授業づくりに向けて力をつけてきていると思います。

100%合格プラン　～教員採用試験対策～

本コースでは，本学の充実した就職支援室のサポートが受けられると同時に，コース独自の教員採用試験対策である100%合格プランにおいて，教育委員会で実際に面接試験を行っていた実務家教員による面接や模擬授業のサポートを受けることもでき，採用される確率がぐんと上がります。教員養成のための充実した教育課程や就職支援体制により，本学は学部・教職大学院ともに常に全国トップクラスの教員就職率を維持しています。

出願資格

現職教員でない者（入学時に現職教員ではない者も含む。），かつ次のいずれかの要件が必要となります。

- 小学校教諭一種免許状を有する者（取得見込みの者を含む。）*
- 小学校教諭一種免許状を有しない者で，学校教員養成プログラムのうち小学校教員養成プログラムを申請する者

＊小学校教諭一種免許状を有する者（取得見込みの者を含む。）は，学校教員養成プログラムの幼稚園教員養成プログラムあるいは中学校教員養成プログラムを申請することが可能です。

修了生からのメッセージ　～教壇に生きる体験～

広島県で小学校の教員になり，多くの先生方に支えられながら教職を続けています。今，教員養成特別コースでの生活を振り返り，とても恵まれた環境で学ぶことができていたと実感しています。特にインターンシップでは，長期にわたり子どもの様子を観察したり関わったりすることができたおかげで，子どもの実態を学ぶことができました。とりわけ印象に残っているのは，友達との関わりでトラブルが多い子どもに対するメンターの先生の対応です。先生が子どもに寄り添い粘り強く声をかけることで，子ども自身が人との関わり合い方について考え，変化していく姿を見ることができました。その姿を見て，私も子どもの成長に寄り添う教師になりたいと感じ，現在も努力を続けています。

また，現職院生の方々と一緒に受ける授業もあり，その中でその方々の思いや考えに触れることもできました。授業だけでなく，現場の先生方の生の声を聞くことができたおかげで，教師として自分はどうあるべきかを具体的に考える機会になりました。

教員養成特別コースでの学びは，今の私の礎となっています。教師を志す皆さんがこのコースで学び，子どものためになる教育をともに考えてくれることを願います。

出尾 森梧（広島県小学校）

鳴門教育大学大学院を修了し，現在は徳島県の小学校で担任をしています。毎日，子どもたちの笑顔や挑戦する姿に元気をもらいながら，学級経営や授業づくりに励んでいます。

大学院での３年間は，私の教員としての基盤を築く貴重な時間でした。特に，長期のインターンシップでは，現場の先生方の授業や学級経営を間近で学ぶことができ，それが今の実践に大きく役立っています。また，大学院で学んだ理論や，多様な視点を持つ仲間たちと議論を重ねた経験が，子どもたち一人ひとりと向き合う際の力になっています。

初めての担任としての仕事は戸惑いや悩みも多いですが，大学院で経験した授業づくりを現場でも生かし，大学院在学時に自分が理想としていた「子ども主体で思考の過程を重視する授業」を今でも目指し続けています。何よりも，修了後も大学院の先生方が相談に乗ってくださるなど，心強い支えがあることに感謝しています。

これからも，大学院で得た学びを糧に，自分の課題に向き合いながら，より良い教師を目指して努力を続けたいと思います。教員を目指す皆さん，ぜひこの教員養成特別コースで多くのことを学び，教員への道の一歩を踏み出してみませんか。

平尾 貴子（徳島県小学校）

国立大学法人 鳴門教育大学
〒772-8502　徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
教育内容に関する問い合わせ（**教務課**）　☎088-687-6692
入試に関する問い合わせ（**入試課**）　☎088-687-6131
HPアドレス　https://www.naruto-u.ac.jp/schools/02/003219.html